

ポスター発表 10			
主題	ひとりひとりに合わせた外出を実施することで生活に起こる変化の検証について		
副題	まずは短・近・簡な外出から始めよう！		
キーワード1	個別外出	キーワード2	個別ケア
研究期間	24 ヶ月		

法人名	社会福祉法人 青梅福祉協会		
事業所名	特別養護老人ホーム 第二青梅園		
発表者：塩野 里美	アドバイザー：なし		
共同研究者：氏名 浅見英雄・作山久美子・的場和也・佐藤宏俊・大澤 毅・堀江和生			

電話	0428-74-7331	FAX	0428-74-7335
----	--------------	-----	--------------

今回発表の事業所やサービスの紹介	青梅駅から北西約2km。永山丘陵の麓にあり目の前を黒沢川が流れる自然に囲まれた場所にあります。平成13年4月に開園し、入所100名、ショートスティ5名の施設です。
------------------	---

《1. 研究前の状況と課題》

【状況】
今までは施設行事として計画された外出が殆どであり、個別で外出をされる方としては、自ら希望を言える自立度が高い入所者が対象であった。また、施設行事の外出についても同様の方が参加される機会が多かった為、外出機会として数多く計画されていても、認知症や身体の障害が重い方への外出機会が乏しい状況であった。

【課題】

- ・個別外出の必要性を感じサービス目標に掲げているが、個々のニーズの引き出しや、実行に向けた計画が実施されなかった。
- ・日々の業務をこなす事に追われて、外出に関しては個々のニーズに沿ったサービスが提供できている場面が少なかった。
- ・個別外出の機会が生活相談員や介護支援専門員の業務の合間での実施に頼る傾向が見られた。

《2. 研究の目的ならびに仮説》

認知症や身体の障害が重い方にも外出機会を通して、やりがいや楽しみや目標を持って生活をして頂くことで、自ら前向きに健康や身体機能の維持・回復に向けての意欲を高められることを期待して実施。

また、利用者の想いに添った外出に付き添う事で、職員の日頃のケアに対しての意識の変化と、その後の利用者との関係性に良い変化が起きるのではないかと期待する。

《3. 具体的な取り組みの内容》

- ・趣味・嗜好について、ご本人・ご家族などからできる限り情報を得ることと、本人が今一番したいことを聴取した。
- ・各職種が日頃からの関わりの中で得ている情報も追加した。
- ・その方の健康面・体力面・介護状況に合わせて、実現に向けた工夫をした。
- ・ケースに合わせて、介護職員だけでなく生活相談員・ケアマネ・ご家族にも外出の付き添い協力を依頼して実施した。
- ・外出を実施に繋げる為、各職種間で話し合い外出日を第1・3水曜日と、適宜可能な日で行う事に設定した。
- ・送迎代を近隣一律 2,000 円に設定し、ご本人・ご家族に周知と事前了承を得て実施した。

釣竿買い物・釣り・パチンコ
自宅へ行く(御岳山)・カラオケボックス
買い物・図書館・家族との外食・花見
友人訪問・家族との温泉旅行・墓参り
教会礼拝等実施した。

《4. 取り組みの結果》

自分の行きたい所やしたいことが実現できたことで、生活に張りが出て、「次は、あそこに行きたい。」「また行きたいので、リハビリを頑張る。」「何年振り家族と食事をしたよ。」等の声が聞かれています。また、指しゃぶりの行動が日常的に見られる方と周辺を散歩した際には、指しゃぶりをせずに気持ち良さそうに風や日差しを感じている様子が伺えた。

。付き添いをした職員からは、「いつもと違う笑顔が見られた。」「こんなに喜んでくれると思わなかった。他の方も連れて行きたい。」との声が聞かれた。

《5. 考察、まとめ》

- ・体調は安定しているも体力面・身体機能面の低下が重い方に対する実施に対する理解が乏しく、ニーズや希望を言える方への実施が中心になってしまった。
- ・職員の中にまだ個別外出に対しての認識に温度差があり、全体を通しての実施に至らない面がある。
- ・再度、各職種間で協議を行い、施設全体としての取り組みに定着できるよう働き掛けていく。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究発表を行うにあたり、写真掲載はご本人・ご家族に口頭にて確認をし、本研究発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《7. 参考文献》

アクティブ福祉 in 東京 '13
「ご利用者が本当に望んだ外出」
日の出紫苑 市川 好行

《8. 提案と発信》

健康面や身体機能面、家族の問題など様々な問題により施設入所する事を選択された方に対して、できる限り本人らしい生活が継続できるように、個別ニーズの聴取とケアの実施の重要性が言われているなか、日々提供しているケアは、健康面や身体機能面の問題だけが中心でないだろうか。施設によって取り組みの内容に特色がある中で、他施設で実践されている取り組みを参考にしながら、ご利用者の生活の満足度を上げていく努力を重ねていきたい。

【メモ欄】